



THE Y'S MEN'S CLUB OF AIZU
会津ワイズメンズクラブ
CHARTERED ON FEB. 1993



2020～2021 年度主題

<No.301 会津通信>
2020年12月20日発行

国際会長	Jacob Kristensen (Denmark)	「価値観、エクステンション、リーダーシップ」
アジア地域会長	David Lua (Singapore)	「変化をもたらそう」
東日本区 理事	板村 哲也 (東京武蔵野多摩)	「変化をたのしもう！」
北東部 部長	南澤 一右 (仙台青葉城)	「変化を楽しみながら新生北東部を創ろう！」
会津クラブ会長	青山 孝男	「変わらずに歩んで、がんばっぺ！」

会 長	青山孝男
副会長	高橋眞美
書 記	高橋真人
会 計	高橋真人

◇12月の聖句◇

自分を愛してくれる人を愛したところで、あなたがたにどんな報いがあるのか。徴税人でも、同じことをしているのではないか。自分の兄弟にだけ挨拶したところで、どんな優れたことをしたことになるのか。異邦人でさえ、同じことをしているのではないか。
マタイ福音書5章 47節～47節

12月例会

日時:2020年12月8日(火)18:30～20:30

場所:寿司万 迎賓館

	司会:青山 会長
1.開会点鐘	会 長
2.ワイズソング	なし
3.会長挨拶	会 長
4.連絡報告	
5.聖句朗読	クリスマスメッセージ
6.食前感謝	高橋 カワイズ
7.歓 談	ユニクダンスのメンバーを 迎えて 近状報告
9.閉会点鐘	会 長

狙われて生かされた老八郎

高橋 カワイズ



旧満州の吉林の家である日、三名の険しい顔の関東軍高級将校が父を囲んでいた。父はなにやら話を撥ね付けていたようで、険悪な雰囲気だった。後で訊いてみると、ガソリン燃料不足を補うための松根油搾油器具が金属不足で製造できなくなったになったので、なんと缸窯の窯業技術で開発せよ、との国家命令を突きつけてきたのを断固はねつけていたとのことだった。

仙台二高、東北帝大の学生時代からアカとして農民運動に熱中していた父八郎は、何回も逮捕投獄に耐えながら生き抜いた拳句、汚い金の誘惑でなびく運動家、農民両者に裏切られ、失意の中東京へ。「都新聞」に関わり、高橋是清氏、相馬愛蔵ご夫妻とのご親交を得て人生を深め、その中から旧満州帝国へ一九三六年単身渡満。

日本を離れ満州に移ってから関東軍の黒幕、甘粕憲兵大尉らに狙われていた。ある時、剣道五段の父八郎は関東軍の銃剣術の名手との公開試合に呼び出された。まわりをとり囲む居並ぶ兵た

<11月例会出席状況>

在籍者 5名 ゲスト 0名

出席者 5名

*例会出席率 100%

あかべこ 5,000円

20-21年度合計 25,000円

《例会》

毎月第2火曜日 19:00～21:00

若松栄町教会 (☎0242-27-3944)

強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う

ちの雰囲気を感じた八郎は、禁じ手の足払いで倒した相手の銃剣を奪い取り、高々と「この野郎、ぶっ殺してやる！！」と振り上げたその瞬間、「この試合、これまで！！」との審判の一声で死の境を超えたこともあった。

そのような辛苦の末、山に緑が戻り、炭鉱からの鉄道もうごき、馬賊の被害もなくなり、窯業で繁栄してきた缸窯にようやく先が見え始めたとき敗戦。

敗戦の年の正月を八路の身代金要求で50日間牢で過ごした。寒風の吹き込む窓から人民裁判（公開処刑）の騒ぎと銃声を連日聞きながら、父八郎はビター文払わずに帰宅。「誰一人オレをうったえるやつはいなかったらしい」と誇っていた。

仙台の学生時代、下宿で知り合った支那の革命政府関係の留学生の愛国心に感銘し、当時チャンコロと蔑視する風潮の中で有意の他国人の存在に感銘をうけ、大陸に渡ってからの現地人と接するときの大切な思想となったこと、決して蔑視することのない他利的な生きようから、現地の如何なる人々からも「老八郎（ラオパーラン）と敬称つきで呼ばれた。

人生の盛りを旧満州大陸の寒村だった缸窯の復興に注ぎ尽くした父八郎は裸一貫、全てをそのままに残してきた。家族共々帰国でたのは幸甚。

理事通信

理事メッセージ

東日本区理事 板村 哲也（東京武蔵野多摩）



11月は好天が続きました。コロナで気持ちがふさぎ勝ちですが青空と爽やかな風は一服の清涼剤となりました。しかし以前から予測されていたように、気

候の寒冷化・乾燥化や人の動きに伴い新型コロナウイルスの感染が急拡大し始めました。個人の努力の限界は越えたとは言え、引き続き感染防止に注意を怠らないように致しましょう。

11月14日に甲府21クラブの創立30周年記念例会が開催され、その中で2名の入会式が行われました。また豪州アデレードクラブとのIBC締結式がZoomで行われました。

ZoomによるIBC締結はワイズメンズクラブ国際協会として初めてのケースでしたが、周

到な準備で極めて順調に執り行われました。なおこのIBC締結は国際協会として1004番目とのことです。（関連記事4頁）11月27日には石巻広域クラブでハイブリッド方式による入会式・転入式が行われ、それぞれ4名、1名が入会されました。第2回役員会（11月7日）で東日本区の法人化準備委員会の設置が承認され、宮内友弥委員長を筆頭に24名の委員の皆さまが任命されました。法人化の動きは日本区時代の1992年から始まり、紆余曲折がありましたが、最近2年間の集中的な検討で具体的な取り進め案を得るに至りました。これから約半年間法人化準備委員会で最終的な作業を行い年度末に一般社団法人として登録を行うことを目指します。

これからの動きにつきましてはいろいろな方法で皆さまにお伝えしていきますので、よろしくご理解下さいますようお願い致します。（関連記事3頁）新型コロナウイルスの感染拡大の中で私たちの生活や命を守るために働いてくださっている方が大勢いられます。また苦しんでおられる方も大勢おられます。団体として、また個人として分かち合えること、助け合えることを考え実行していきましょう。

足跡

今月の例会はユニークダンスのメンバーと会食を共にしました。7月に総会をし、新型コロナウイルス感染予防で活動を自粛していましたが、感染対策をしている飲食店を探し漸くメンバー



全員が集合できました。マスクと適当な間隔を取りながらご馳走と会話を楽しみました。メインは「メンバーの近状報告」でした。内容は様々で深い話が訊けた例会でした。

★今後の予定★

★ 1月例会(新年) ★

1月12日(火)